

駿河湾沼津久料港出船  
 撮影●本誌編集部  
 多彩な魚種で癒やされる  
 沼津の夜は納涼アジ五目



釣りは航程15分、大瀬崎沖の水深40メートル前後

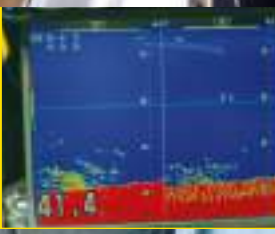


●8月に入ると40センチオーバーのアジも期待できるといっ

▼岸近くのカケ上がりにアンカーを打って船を固定する



▲底付近に反応が映ると全員にキントキがヒット



▼コマセはアミ、付けエサはオキアミ。いずれも船で用意してくれる

▼仕掛けは全長2.5メートルの2本バリ、ハリス5号。コマセカゴはFLサイズ、オモリ100号



▲アジ用船ハリスはしなやかに結びやすい。そのうえ糸クセが付きにくく、よく



●アジの口周りは軟らかいので口切れしないよう中速で巻き上げよう



●アンカーを打ち、船の照明をつけてアジの回遊を待つ



●沼津は中心〜大アジ中心、夜アジ五目は6月中旬から10月後半まで



●夜アジ五目に初挑戦でこのとおり




●キントキが一荷で掛かることも格別



●キントキは良刺主体

**MUST-HAVE ITEM**  
**ハリを飲まれたらプライヤーの出番**  
 キントキが釣れるとほとんどハリを飲み込まれてしまう。ハリを外すためのプライヤーは必須アイテムで、先の曲がったタイプやノーズの長いものが使いやすくておすすめ。




●1尾が一度に2本のハリを飲み込んでいることもある



●カマスも交じった

アジは数こそ多くはないが、30センチ前後を主体に40〜45センチ級の大型も期待できるという。これにサバやキントキ、カマス、クロムツ(ムツ)やエボダイ、メバルなどが交じってクーラーにはぎやかに。日中の暑さを避け、涼しい時間帯にのんびり納涼フィッシングを楽しもう。  
 (詳細は56ページ参照)



●駿河湾沼津久料港・魚磯丸 久保田 清船長



●40センチ前後のサバが入れ食いに



▼コマセをしっかり振り出し海面から30メートル前後の指示ダナでアタリを待つ